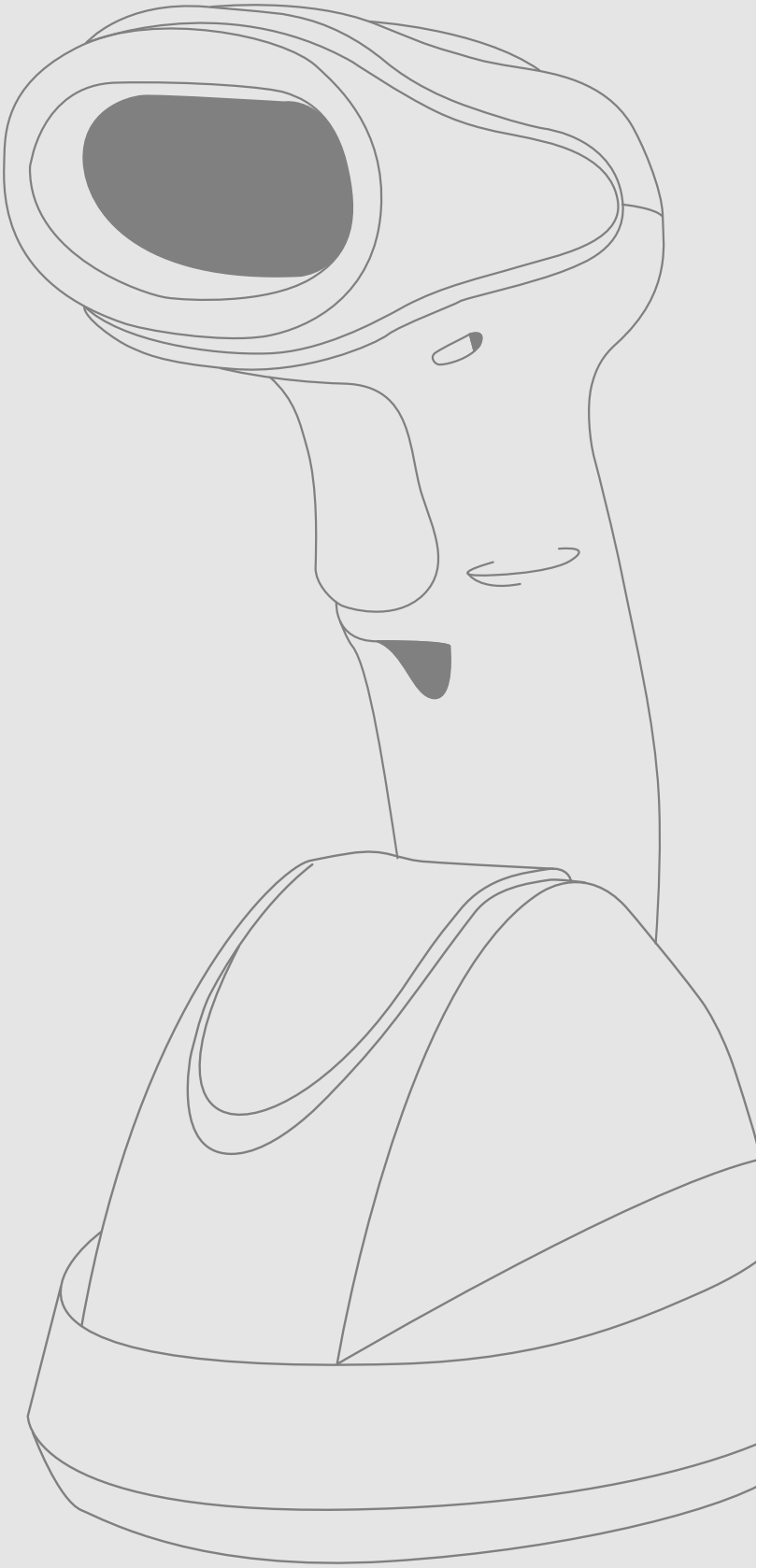
FK-6530BT

Wireless 2D Imager Barcode Scanner

詳細設定マニュアル



FKsystem

2024.05

目　次

目　次 **2**
注意事項 **4**
1. 各部名称とセットアップ **5**
1.1　各部の名称 5
1.2　LED について 6
1.3　設定方法 6
1.4　クレードル接続で使用する 7
1.5　クレードル接続のインターフェース設定 7
1.6　Bluetooth-HID 接続のペアリング 8
1.7　文字間遅延設定（Bluetooth-HID） 9
1.8　Bluetooth-SPP（スレーブモード）接続のペアリング 10
1.9　スキャナーのデバイス名変更 11
1.10　iOS キーボード表示 12
1.11　自動接続の時間設定 12
1.12　スリープモード設定 12
1.13　スキャナーの電源 OFF 13
1.14　大文字/小文字変換 13
1.15　メモリーモード設定 14
2. 基本設定 **15**
2.1　出荷時の状態に戻す 15
2.2　バージョン情報 15
2.3　キーボード言語 15
2.4　バイブレーション設定 16
2.5　スキャンビープ音 16
3. スキャン設定 **17**
3.1　スキャンモード 17
3.2　物体検知モードの感度設定 17
3.3　デコードエリア 18
3.4　デコードタイムアウトの設定 19
3.5　同一バーコードの読み取り遅延設定 20
3.6　サスペンド状態になるまでの時間設定 20
3.7　ライト（照明光）の設定 21
3.8　エイミング（照準光）の設定 22
3.9　照合チェック設定 22
4. バーコードプログラムの設定 **23**
4.1　1D/2D バーコード読み取り設定 23
4.2　UPC-A 24
4.3　UPC-E 26
4.4　EAN-13 28

4.5 EAN-8 33
4.6 Code39 35
4.7 NW-7・Codabar 37
4.8 Code93 39
4.9 Code128/GS1-128 40
4.10 Interleaved 2 of 5（ITF） 41
4.11 Code32 42
4.12 MSI 43
4.13 GS1 Databar 44
4.14 QR Code/Micro QR 50
4.15 Data Matrix 52
4.16 PDF417/Micro PDF417 52
4.17 MaxiCode 53
5. 送信データを編集する 54
5.1 先頭/末尾に文字を付加する（プレフィックス/サフィックス） 54
5.2 改行コードの設定 55
5.3 指定した桁数を切り捨て 56
5.4 制御文字の変換 57
コード別の設定バーコード一覧 60
ASCII コード一覧 62
ASCII コード（制御文字） 62
ASCII コード（文字・数字・記号） 66
数字バーコード 72
困ったときは 73

注意事項

※スキャナー底面に、付属の充電用ケーブル（Mini USB ⇔ USB Type-A）を挿して給電することも可能ですが、スキャナーのコネクタ及びケーブル破損に繋がる恐れがある為、弊社としてはこの使用方法は推奨しておりません。
上記使用方法による故障は保証対象外となっておりますのでご了承ください。

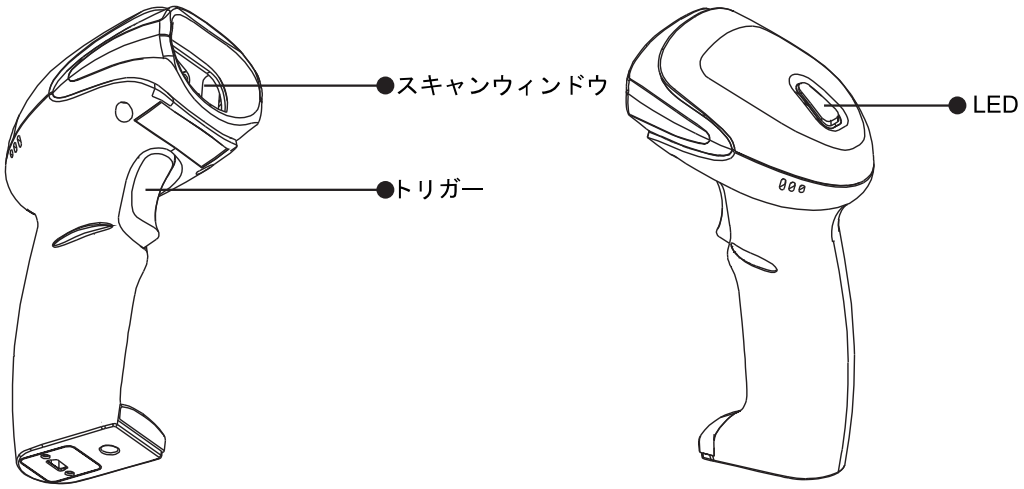
※**充電は必ず給電用ケーブルをお使いください**。
給電不足による充電不足・ペアリング不良の原因となりますので、クレードル接続・Bluetooth 接続のどちらの使用方法でも必ず給電用ケーブルをクレードルに接続して、充分な電力供給がされるようにご使用ください。

※はじめてご使用になるときは、クレードルにスキャナーを置いて緑 LED が点灯したことを確認し、緑 LED が消灯するまで充電してください。
満充電までは、バッテリーの充電残量によりますが約 3 ～5 時間かかる見込みです。

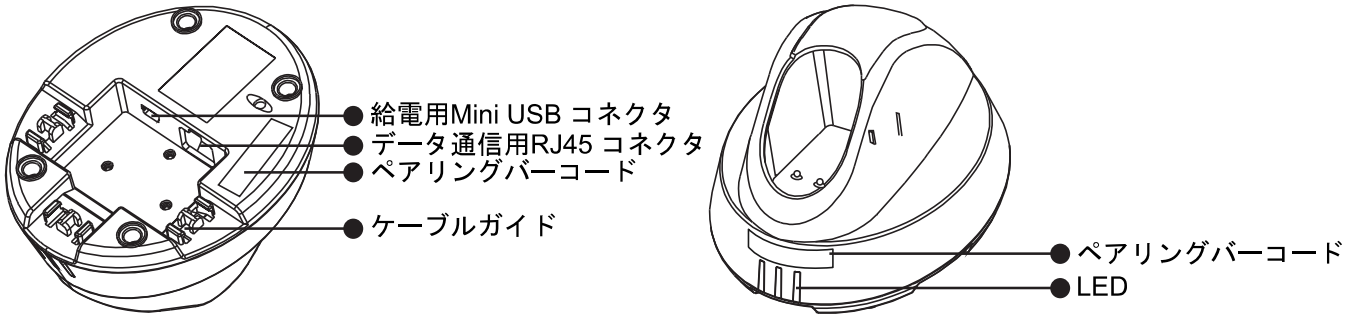
1. 各部名称とセットアップ

1.1　各部の名称

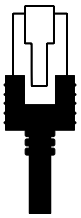
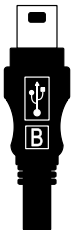
■スキャナー



■クレードル



■USBケーブル

	データ通信用ケーブル RJ45（クレードル）　⇔ USB Type-A（パソコン） クレードルとペアリングして使用する場合には、必ずこちらの USB ケーブルをデータ出力先のパソコンに接続してください。
	給電用ケーブル Mini USB（クレードル）　⇔ USB Type-A（パソコン or 付属アダプター） ※給電不足による充電不足・ペアリング不良の原因となりますので、 **必ず給電用ケーブルを接続して**ご使用ください。

1.2　LED について

■スキャナーLED

LED の色	光り方 ＆ ビープ音	
青	速い点滅（1 秒に 4 回）	Bluetooth 接続のペアリングモード
青	点滅（1 秒に 1 回）	ペアリングが切れている状態
赤 ＆ 青	点灯	電源 ON ＆ 無線接続中 スキャン可能な状態
緑	点灯	充電中
オレンジ	点滅＆ビープ音×1 回	スキャン成功
オレンジ	点滅×2 回 ピコンッ音×1 回	メモリーモードでのスキャン成功
オレンジ	点滅＆ビープ音×4 回	通信範囲外
	ピピピピピピ、ピー（LED 消灯）	バッテリー残量なし
	ビープ音（低）×3 回	設定エラー

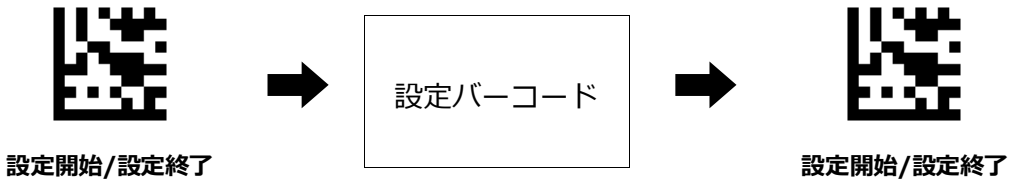
■クレードル LED

LED の色	光り方	
青	点滅（1 秒に 4 回+1 秒に 1 回）	ペアリングモード
青	点滅（1 秒に 1 回）	ペアリングが切れている状態
青	点灯	スキャナーと無線接続中
赤	点灯	電源 ON
緑	点灯	充電中

※スキャナー/クレードルの緑 LED(充電状態)は、満充電になると自動で消灯します。

1.3　設定方法

基本の設定手順

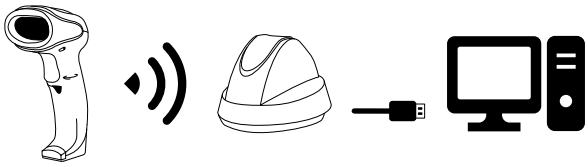


「設定開始」「設定終了」が不要な項目

“「設定開始/終了」は不要”と記載してある設定項目については、設定バーコードのスキャンのみで設定をします。
また、「設定開始/終了」が不要な設定項目は「2.1　出荷時の状態に戻す（P.15）」をしても出荷時の設定には戻りませんのでご注意ください。

1.4　クレードル接続で使用する

※「設定開始/終了」は不要です。



■ ペアリングの手順 ■

クレードルが通電していない状態にして下さい。

⇩

左から順番にスキャン

ペアリング初期化 ➡ **BT SPP** ➡ **クレードルペアリングモード**

⇩

データ通信用 USB ケーブルをパソコンに接続

クレードルがペアリングモードになります

⇩

クレードルに貼付の「Pairing Code」のバーコードをスキャン

（クレードルの LED 上部 及び 底面にございます）

⇩

ビープ音が 2 回 ＆ スキャナーとクレードルの青 LED が点灯 したら、ペアリング成功

1.5　クレードル接続のインターフェース設定

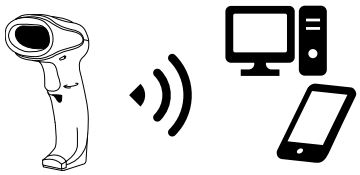
※「設定開始/終了」は不要です。

***USB-HID**

USB-COM

1.6　Bluetooth-HID 接続のペアリング

※「設定開始/終了」は不要です。



■ ペアリングの手順 ■

ペアリング初期化　⇨　**Bluetooth - HID**　⇨　**ペアリングモード**

■Windows OS ･･･ 設定 → デバイス → Bluetooth とその他のデバイス → デバイスを追加
■iOS ･･･ 設定 → Bluetooth → 自分のデバイス
■Android ･･･ 設定→ 無線とネットワーク → Bluetooth → 使用可能な機器

接続する端末にて、デバイス名「Bluetooth Scanner」が表示されますので、選択して接続をします。
・ペアリング成功 ⇒ 「ピピッ」というビープ音が鳴ります。（LED:青 点灯）
・ペアリング失敗 ⇒ 「ピピピピピ」というビープ音が鳴ります。

※2 分ほど時間が経過すると、スキャナーのペアリングモードが解除されてしまいます。
（スキャナー青 LED が早い点滅⇒ゆっくり点滅）
その際はもう一度「ペアリングモード」の設定バーコードをスキャンすると、再度ペアリング可能な状態になります。

1.7　文字間遅延設定（Bluetooth-HID）

※この設定は Bluetooth-HID 接続のときのみ適用されます。
※Bluetooth ファームウェアバージョン：BT-3.25 より対応

※「設定開始/終了」は不要です。

***1ms**

2ms

3ms

4ms

5ms

6ms

7ms

8ms

9ms

10ms

1.8　Bluetooth-SPP（スレーブモード）接続のペアリング

※「設定開始/終了」は不要です。

■ ペアリングの手順 ■

ペアリング初期化

⇨

Bluetooth－SPP

⇨

ペアリングモード

Windows 側の設定（Windows10 の場合）

Bluetooth デバイスの追加

① 設定 ⇒ デバイス ⇒ 「Bluetooth とその他のデバイス」の画面へ

② Bluetooth をオンにする

③ Bluetooth またはその他のデバイスを追加する ⇒ 「デバイスを追加する」にて Bluetooth を選択。デバイス名「Bluetooth Scanner」が表示されますので、選択してデバイスを追加します。
※この時点ではまだペアリングされていません（スキャナーLED:青 点滅）

COM ポート番号の確認

④ 再び「Bluetooth とその他のデバイス」の画面へ
その他の Bluetooth オプション ⇒ Bluetooth 設定のウィンドウが出ますので、「COM ポート」のタブからスキャナーのデバイス名で「発信」のポート番号を確認します。

シリアル通信ソフトで COM 接続する

⑤ シリアル通信ソフトにて、確認したポート番号で接続します。
・COM ポート接続完了 ⇒ ペアリング成功の「ピピッ」というビープ音が鳴ります。（LED:青 点灯）
・COM ポート切断 ⇒ 「ピピピピ」というビープ音が鳴ります。（LED:青 点滅）
※COM ポート接続完了にてペアリング成功となります。

※2 分ほど時間が経過すると、スキャナーのペアリングモードが解除されてしまいます。
（スキャナー青 LED が早い点滅⇒ゆっくり点滅）
その際はもう一度「ペアリングモード」の設定バーコードをスキャンすると、再度ペアリング可能な状態になります。

1.9　スキャナーのデバイス名変更

※「設定開始/終了」は不要です。

Bluetooth 接続時に表示されるスキャナーのデバイス名を変更できます。
この設定をする為には、２Ｄバーコードを作成する必要があります。

QR Code や Data Matrix といった２Ｄバーコードで、

%%BT_NAME=設定したいデバイス名（半角英数字）

というバーコードを作成。
作成したバーコードをスキャンすることで設定ができます。（「設定開始/終了」のスキャンは不要）

- 使用する端末との Bluetooth 接続が外れている状態で、デバイス名の変更を行ってください。
- デバイス名変更前に端末と Bluetooth 接続していた場合は、端末からデバイスの登録を削除してからデバイス名の変更を行ってください。
- うまく設定が反映されない場合には、Bluetooth のペアリング（P.8）を再度行ってください。

■出荷時のデバイス名に戻す

%%BT_NAME=Bluetooth Scanner

1.10　iOS キーボード表示

※「設定開始/終了」は不要です。

iOS にて全角で入力される・改行されないといった場合には、タッチキーボードの 地球儀ボタンから English(US)に切り替えてください。

iOS キーボード ON/OFF

設定バーコードのスキャンで
キーボードの表示/非表示をします

トリガー操作でキーボード表示
有効/無効

有効にすると、トリガーを素早く 2 回押すことで
キーボードの表示/非表示を操作できます。
設定バーコードのスキャンで有効/無効を切り替えます。

1.11　自動接続の時間設定

※「設定開始/終了」は不要です。

無線通信の範囲外になってしまった場合（ビープ音×4 回でお知らせ）でも、設定した時間内に通信範囲内に戻れば自動的に再接続されます。

***20 秒**　**1 分**　**5 分**　**10 分**

1.12　スリープモード設定

※「設定開始/終了」は不要です。

無効（スリープしない）　**電源 OFF**

2 分　***5 分**　**10 分**　**20 分**

1.13　スキャナーの電源 OFF

※「設定開始/終了」は不要です。

電源 OFF

●トリガーを 30 秒押し続けることでも、スキャナーの電源を OFF にできます。
⇒30 秒経過してスキャナーからビープ音が鳴ったら、トリガーから指を離してください。

1.14　大文字/小文字変換

※「設定開始/終了」は不要です。

キーボードの Caps Lock ステータスに影響されずに、送信データを大文字/小文字に変換します。

●プレフィックス/サフィックスに付加した文字も変換されます。

＊変換しない

すべて大文字に変換

すべて小文字に変換

1.15　メモリーモード設定

※「設定開始/終了」は不要です。

メモリーモードにすると、スキャンしたデータはすべてスキャナーのメモリー内に保存されます。
保存されたデータの出力は、「メモリー内データを送信」のバーコードをスキャンして行います。

- クレードル接続の USB-HID、Bluetooth 接続の HID 設定でのみ使用可能。
- メモリーモード中は設定バーコードをスキャンしても設定が反映されない場合があります。
  「1.12 メモリーモード設定」以外の項目の設定を変更する場合には、必ず
  「メモリーモード 無効」にしてください。

メモリーモード 有効

***メモリーモード 無効**

■メモリー内のデータを送信する

メモリー内データを送信

■保存されているデータ数を送信する

「Total Counters ＝ “データ数”」という形式で、メモリー内に保存されているデータ数を送信します。

データ数の送信

■メモリー内データの全削除

メモリー内に保存されているデータをすべて削除します。

メモリー内データの全削除

設定開始/設定終了

2. 基本設定

2.1　出荷時の状態に戻す

設定初期化

●設定時に「設定開始/終了」が不要な設定項目については、
「設定初期化」をしても出荷時の状態には戻りません。

2.2　バージョン情報

※「設定開始/終了」は不要です。

本体バージョン情報

Bluetooth バージョン情報

2.3　キーボード言語

※「設定開始/終了」は不要です。

*日本

アメリカ

設定開始/設定終了

2.4　バイブレーション設定

※「設定開始/終了」は不要です。

バイブレーション ON

*バイブレーション OFF

2.5　スキャンビープ音

■スキャンビープ音 ON/OFF

*スキャンビープ音 ON

スキャンビープ音 OFF

■スキャンビープ音の音調

Low

*Medium

High

設定開始/設定終了

3. スキャン設定

3.1　スキャンモード

*トリガーモード

連続読取モード

物体検知モード

※連続読取モード設定時･･･トリガーを押すことで、デコードの ON/OFF を切り替えることができます。
※物体検知モード設定時･･･トリガーを 1 回押すことで 5 秒間ほど一時的にデコードを OFF にすることができます。（時間経過後、自動でデコード ON に戻ります）

3.2　物体検知モードの感度設定

*感度・普通

感度・高

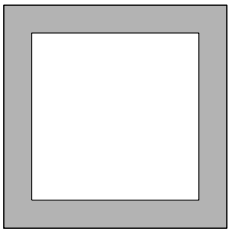
※感度設定の変更後、センサーが反応するまでに 5 秒ほど時間がかかることがあります。

3.3　デコードエリア

スキャナーの読み取り領域を設定できます。

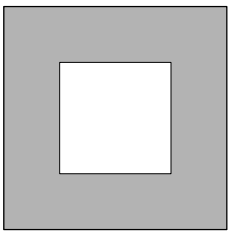
デコードエリア 100%

***デコードエリア 100%**



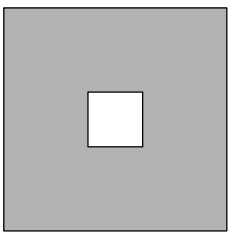
デコードエリア 75%

デコードエリア 75%



デコードエリア 50%

デコードエリア 50%



デコードエリア 25%

デコードエリア 25%

設定開始/設定終了

各種 タイムアウトの設定方法

1) 設定開始をスキャン
2) 設定バーコードをスキャン
3) 「数字バーコード（P.72）」をスキャン
   （例：1,500ms に設定の場合は「1」「5」「0」「0」をスキャンします）
4) 設定終了をスキャン

3.4 デコードタイムアウトの設定

デコード（バーコード読み取り）の状態でいる時間を設定できます。

- トリガーモード・物体検知モードでのみ適用可能です。
- 設定可能範囲：0～60,000ms（1ms 刻みで設定可能）
- 「0」に設定すると、タイムアウトが無効の設定になります。

デコードタイムアウトの設定

（初期値：5,000ms）

トリガーモード：トリガー押下中のデコード状態でいる時間
物体検知モード：センサーが反応してデコード状態でいる時間

設定開始/設定終了

3.5　同一バーコードの読み取り遅延設定

同じバーコードを読み取るまでの時間を設定できます。

●連続読取モードと物体検知モードでのみ適用可能です。
●設定可能範囲：0～5,000ms（1ms 刻みで設定可能）

同一バーコード遅延設定

（初期値：1,500ms）

3.6　サスペンド状態になるまでの時間設定

デコード（読み取り）　→ アイドル（休止）　→ サスペンド（一時停止）で、アイドル状態からサスペンド状態になるまでの時間を設定できます。

●トリガーモードと連続読取モードでのみ適用可能です。
●設定可能範囲：0～3,600,000ms（1ms 刻みで設定可能）
●「0」に設定すると、タイムアウトが無効（サスペンド状態にならない）の設定になります。

サスペンド状態になるまでの時間設定

（初期値：15,000ms）

※スリープモードの設定とは異なります。

設定開始/設定終了

3.7　ライト（照明光）の設定

*トリガーで ON

無効

常に ON
(サスペンド状態では OFF になります)

フェードアップ
（弱光 → トリガー押下で点灯）

※稼働中、常に ON に設定したい場合は
- ライトの設定 → 常に ON
- サスペンド状態になるまでの時間設定（P.20） → 「0ms」に設定してください。

ライト（照明光）の明るさ

弱

中

*強

設定開始/設定終了

3.8　エイミング（照準光）の設定

赤い照準光の設定ができます。

＊トリガーで ON

無効

常に ON
（サスペンド状態では OFF になります）

※稼働中、常に ON に設定したい場合は
- ●エイミングの設定 → 常に ON
- ●サスペンド状態になるまでの時間設定（P.20） → 「0ms」に設定してください。

3.9　照合チェック設定

照合チェックの回数を増やすことにより、誤読やエラーを低減させます。
ただし、回数を増やすことにより読み取るまでに若干時間がかかることがあります。

*1 回

2 回

3 回

設定開始/設定終了

4. バーコードプログラムの設定

4.1　1D/2D バーコード読み取り設定

*すべてのバーコード読取 有効

すべてのバーコード読取 無効

1D バーコード読取 有効

2D バーコード読取 有効

※1D あるいは 2D バーコードのみを読み取り有効にしたい場合は、「すべてのバーコード読取 無効」に設定後、読み取りを有効にしたいバーコードを設定してください。

読み取り桁数の設定方法

■桁数 A のみ読み取り（例：5 桁のバーコードのみ読み取りたい場合）

1）設定開始をスキャン
2）設定バーコードをスキャン
3）「数字バーコード（P.72）」の「0」「5」をスキャン
4）設定終了をスキャン

■桁数 A～B のみ読み取り（例：1～5 桁のバーコードのみ読み取りたい場合）
■桁数 A と B のみ読み取り（例：1 桁と 5 桁のバーコードのみ読み取りたい場合）

1）設定開始をスキャン
2）設定バーコードをスキャン
3）「数字バーコード（P.72）」の「0」「1」「0」「5」をスキャン
4）設定終了をスキャン

4.2　UPC-A

UPC-A 読み取り	*有効	無効
UPC-A を EAN-13 に変換	有効	＊無効
UPC-A チェックデジットを送信する	*有効	無効
UPC-A 先頭が 0 の場合 0 を削除	有効	*無効

UPC-A アドオン読み取り設定	＊無効
	2 桁アドオン有効
	5 桁アドオン有効
アドオンのある UPC-A のみ読み取り	有効
	＊無効

4.3　UPC-E

UPC-E 読み取り	*有効 無効
UPC-E を UPC-A に変換	有効 *無効
UPC-E チェックデジットを送信する	*有効 無効
UPC-E 先頭が 0 の場合 0 を削除	有効 *無効

UPC-E アドオン読み取り設定	*無効
	2 桁アドオン有効
	5 桁アドオン有効
アドオンのある UPC-E のみ読み取り	有効
	*無効

4.4　EAN-13

EAN-13 読み取り		*有効
		無効
EAN-13 チェックデジットを送信する		*有効
		無効
旧 ISBN（10 桁）の読み取り		有効
		*無効

EAN-13 アドオン読み取り設定	*無効
	2 桁アドオン有効
	5 桁アドオン有効
アドオンのある EAN-13 のみ読み取り	有効
	*無効

書籍用 2 段バーコード（978/192）ー 読み取り設定

※WLM-J1.2.3 より対応
※書籍用 2 段バーコードの結合出力を有効にすると、
　EAN-13 の「アドオンのある EAN-13 のみ読み取り有効」の設定はできなくなります。

書籍用 2 段（978/192）
結合して出力

978/192 フラグ
1 段/ 2 段両方読取可

978/192 フラグ
2 段構成のみ読取可

***無効**

1 段/ 2 段両方読取可	9 780000 000002 〇読取可	9 780000 000002 1 920000 000000 〇結合して読取/出力可
2 段構成のみ読取可	9 780000 000002 ×読取不可	9 780000 000002 1 920000 000000 〇結合して読取/出力可
無効	9 780000 000002 〇読取可	9 780000 000002 1 920000 000000 ×結合して読取/出力不可

書籍用 2 段バーコード（979/192）ー 読み取り設定

※WLM-J1.4.5 より対応
※書籍用 2 段バーコードの結合出力を有効にすると、
　EAN-13 の「アドオンのある EAN-13 のみ読み取り有効」の設定はできなくなります。

書籍用 2 段（979/192）
結合して出力

979/192 フラグ
1 段/ 2 段両方読取可

979/192 フラグ
2 段構成のみ読取可

***無効**

1 段/ 2 段両方読取可	9 790000 000001 〇読取可	9 790000 000001 1 920000 000000 〇結合して読取/出力可
2 段構成のみ読取可	9 790000 000001 ×読取不可	9 790000 000001 1 920000 000000 〇結合して読取/出力可
無効	9 790000 000001 〇読取可	9 790000 000001 1 920000 000000 ×結合して読取/出力不可

設定開始/設定終了

書籍用 2 段バーコード（978/192、979/192 共通）ー 結合データ間の文字設定

結合データ間の文字

初期値：CR（改行）

設定可能な文字数：1

結合データ間文字

結合データ間の文字設定方法

1）設定開始をスキャン
2）「結合データ間文字」設定バーコードをスキャン
3）ASCII コード（P.62～）から設定したい ASCII 文字（1 文字のみ設定可能）のバーコードをスキャン
4）設定終了をスキャン

設定例

サンプルバーコード 9 780000 000002 1 920000 000000	結合データ間の文字：CR	⇨	9780000000002 1920000000000
	結合データ間の文字：,（カンマ）	⇨	1920000000000,9780000000002
	結合データ間の文字：Space	⇨	9780000000002 1920000000000

4.5　EAN-8

EAN-8 読み取り	*有効 無効
EAN-8 チェックデジットを送信する	*有効 無効
EAN-8 を EAN-13 に変換	有効 *無効

EAN-8 アドオン読み取り設定	*無効
	2 桁アドオン有効
	5 桁アドオン有効
アドオンのある EAN-8 のみ読み取り	有効
	*無効

4.6 Code39

Code39 読み取り	*有効	無効
Code39 チェックデジットを計算する	有効	*無効
Code39 チェックデジットを送信する	*有効	無効

Code39 フルアスキー	有効 *無効
Code39 スタートストップキャラクター を送信する	有効 *無効
Code39 読み取り桁数 設定方法は P.23 参照 （設定可能範囲：01～99）	桁数 A のみ読取 桁数 A と B のみ読取 桁数 A～B のみ読取 *桁数設定なし

4.7　NW-7・Codabar

NW-7・Codabar 読み取り	*有効	無効
NW-7・Codabar チェックデジットを計算する	有効	*無効
NW-7・Codabar チェックデジットを送信する	*有効	無効

NW-7・Codabar スタートストップキャラクター を送信する （ABCD/ABCD タイプのみ）	有効 *無効
NW-7・Codabar 読み取り桁数 設定方法は P.23 参照 （設定可能範囲：01～99）	桁数 A のみ読取 桁数 A と B のみ読取 桁数 A～B のみ読取 *桁数設定なし

4.8　Code93

Code93 読み取り	*有効
	無効
Code93 読み取り桁数 設定方法は P.23 参照 （設定可能範囲：01～99）	桁数 A のみ読取
	桁数 A と B のみ読取
	桁数 A～B のみ読取
	*桁数設定なし

4.9 Code128/GS1-128

Code128/GS1-128 読み取り	*有効
	無効
Code128 読み取り桁数 設定方法は P.23 参照 （設定可能範囲：01～99） ※GS1-128 では設定できません	桁数 A のみ読取
	桁数 A と B のみ読取
	桁数 A～B のみ読取
	*桁数設定なし
GS1-128 アプリケーション識別子（AI） の送信	*括弧()なしで送信
	括弧()付きで送信

4.10　Interleaved 2 of 5（ITF）

Interleaved 2 of 5 読み取り	*有効 無効
Interleaved 2 of 5 チェックデジットを計算する	有効 *無効
Interleaved 2 of 5 チェックデジットを送信する	*有効 無効

Interleaved 2 of 5 読み取り桁数 設定方法は P.23 参照 （設定可能範囲：01～99）	桁数 A のみ読取
	桁数 A と B のみ読取
	桁数 A～B のみ読取
	*桁数設定なし

4.11 Code32

Code32 読み取り	有効
	*無効

4.12　MSI

MSI 読み取り	有効	*無効
MSI チェックデジットを計算する	*有効	無効
MSI チェックデジットを送信する	*有効	無効

4.13　GS1 Databar

Omnidirectional & Truncated（標準型 ＆ 切詰型）

標準型 ＆ 切詰型 読み取り	***有効**
	無効
標準型 ＆ 切詰型 アプリケーション識別子（AI） の送信	***括弧()なしで送信**
	送信しない
	括弧()付きで送信

Stacked & Stacked Omnidirectional（二層型 & 標準二層型）

二層型 & 標準二層型 読み取り	***有効**
	無効
二層型 & 標準二層型 アプリケーション識別子（AI） の送信	***括弧()なしで送信**
	送信しない
	括弧()付きで送信

Expanded（拡張型）

拡張型 読み取り	***有効**
	無効
拡張型 アプリケーション識別子（AI） の送信	***括弧()なしで送信**
	送信しない ※“01”の AI のみ対応
	括弧()付きで送信

Expanded Stacked（拡張多層型）

拡張多層型 読み取り	***有効** **無効**
拡張多層型 アプリケーション識別子（AI） の送信	***括弧()なしで送信** **送信しない** ※“01”の AI のみ対応 **括弧()付きで送信**

Limited（限定型）

限定型 読み取り	***有効** **無効**
限定型 アプリケーション識別子（AI） の送信	***括弧()なしで送信** **送信しない** **括弧()付きで送信**

GS1 Databar 合成シンボル

CC-A 読み取り	有効	
		*無効
CC-B 読み取り	有効	
		*無効

設定開始/設定終了

4.14　QR Code/Micro QR

QR Code 読み取り	 *有効	
		 無効
Micro QR 読み取り	 有効	
		 *無効

■QR Code の日本語（2 バイト文字）の出力

※Windows OS かつクレードル接続でのみ 2 バイト文字出力に対応しています。

Shift-JIS で出力（左から順番にスキャン）

設定開始

Shift-JIS

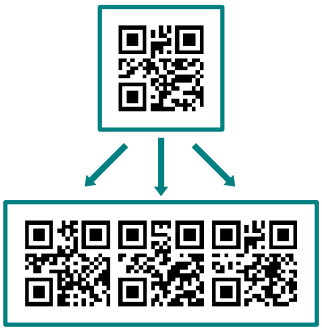
設定終了

UTF-8 で出力（左から順番にスキャン）

設定開始

UTF-8

設定終了



スキャナーが連結 QR を検出すると、連結 QR のすべてのバーコードを読み取るまでデータをバッファリングします。QR シンボルは最大 6 個までです。

※WLM-J1.4.5 より対応

連結 QR 読み取り	有効	
		*無効

4.15 Data Matrix

Data Matrix 読み取り	*有効	
		無効

4.16 PDF417/Micro PDF417

PDF417 読み取り	*有効	
		無効
Micro PDF417 読み取り	有効	
		*無効

4.17　MaxiCode

MaxiCode 読み取り	有効
	*無効

設定開始/設定終了

5. 送信データを編集する

5.1　先頭/末尾に文字を付加する（プレフィックス/サフィックス）

先頭（プレフィックス）の設定	先頭　付加する
	*先頭　付加しない
末尾（サフィックス）の設定 （初期値：すべてのコードに CR を付加）	*末尾　付加する
	末尾　付加しない

データフォーマット

先頭（プレフィックス）	スキャンデータ	末尾（サフィックス）

プレフィックス/サフィックスの設定方法

1）設定開始
2）「先頭　付加する」あるいは「末尾　付加する」のバーコードをスキャン
3）「コード別の設定バーコード（P.60～）」から、設定したいバーコード種をスキャン
4）「ASCII コード一覧（P.62～）」から、付加したい順に ASCII コードをスキャン（6 つまで付加可能）
5）設定終了

プレフィックス/サフィックスを付加しない（※バーコード種別ごとでの設定はできません。）

1）設定開始
2）「先頭　付加しない」あるいは「末尾　付加しない」のバーコードをスキャン
3）「コード別の設定バーコード（P.60～）」から、「すべてのコード」をスキャン
4）設定終了

5.2　改行コードの設定

よく使われる末尾（サフィックス）の設定です。

末尾　付加する

↓

すべてのコード

↓

*CR	CR + LF	TAB
	↓	

改行コードなし
末尾 付加しない ↓ すべてのコード

5.3　指定した桁数を切り捨て

先頭あるいは末尾から、指定した桁数のデータを切り捨てる設定をします。

例：123456789（Code39） 123456789	⇒ 先頭から 3 桁を切り捨てる　⇒ 456789
	⇒ 末尾から 3 桁を切り捨てる　⇒ 123456

先頭から指定した桁数を切り捨て （初期値：0） （設定可能範囲：1～99）	先頭　切り捨て
末尾から指定した桁数を切り捨て （初期値：0） （設定可能範囲：1～99）	末尾　切り捨て

設定方法

1）設定開始
2）「先頭　切り捨て」あるいは「末尾　切り捨て」のバーコードをスキャン
3）「コード別の設定バーコード（P.60～）」より、設定したいバーコード種をスキャン
4）「数字バーコード（P.72）」をスキャン
　（例：1 桁の場合 ⇒ 「1」、10 桁の場合 ⇒ 「1」「0」）
5）設定終了

5.4　制御文字の変換

バーコードのデータ内にある制御文字を他の ASCII 文字に変換して出力することができます。

設定方法

1）設定開始
2）変換したい制御文字の設定バーコードをスキャン
3）ASCII コード（P.62～）から設定したい ASCII 文字（1 文字のみ設定可能）のバーコードをスキャン
4）設定終了

元の出力（変換しない）状態に戻す方法

1）設定開始
2）設定したい制御文字の「戻す」設定バーコードをスキャン
3）設定終了

NUL	**NUL 変換**	**NUL に戻す**	EOT	**EOT 変換**	**EOT に戻す**
SOH	**SOH 変換**	**SOH に戻す**	ENQ	**ENQ 変換**	**ENQ に戻す**
STX	**STX 変換**	**STX に戻す**	ACK	**ACK 変換**	**ACK に戻す**
ETX	**ETX 変換**	**ETX に戻す**	BEL	**BEL 変換**	**BEL に戻す**

BS	BS 変換	BS に戻す	SI	SI 変換	SI に戻す
HT	HT 変換	HT に戻す	DLE	DLE 変換	DLE に戻す
LF	LF 変換	LF に戻す	DC1	DC1 変換	DC1 に戻す
VT	VT 変換	VT に戻す	DC2	DC2 変換	DC2 に戻す
FF	FF 変換	FF に戻す	DC3	DC3 変換	DC3 に戻す
CR	CR 変換	CR に戻す	DC4	DC4 変換	DC4 に戻す
SO	SO 変換	SO に戻す	NAK	NAK 変換	NAK に変換

SYN	SYN 変換	SYN に戻す	ESC	ESC 変換	ESC に戻す
ETB	ETB 変換	ETB に戻す	FS	FS 変換	FS に戻す
CAN	CAN 変換	CAN に戻す	GS	GS 変換	GS に戻す
EM	EM 変換	EM に戻す	RS	RS 変換	RS に戻す
SUB	SUB 変換	SUB に戻す	US	US 変換	US に戻す

コード別の設定バーコード一覧

すべてのコード

UPC-A

UPC-E

EAN-13

EAN-8

Code39

Codabar/NW7

Code93

Code128/GS1-128

Interleaved 2 of 5（ITF）

Code32

MSI

GS1 Databar
標準型・切詰型

GS1 Databar 14
二層型・標準二層型

GS1 Databar
拡張型

GS1 Databar
拡張多層型

GS1 Databar
限定型

QR Code

Micro QR

Data Matrix

PDF417

Micro PDF417

MaxiCode

CC-A

CC-B

ASCII コード一覧

注意１：Type1（青）で出力したい場合には、次のバーコードをスキャンしてください。
※「設定開始」「設定終了」は不要です。

Type1

注意２：Type2（赤）で出力したい場合には、次のバーコードをスキャンしてください。
※「設定開始」「設定終了」は不要です。

Type2

ASCII コード（制御文字）

hex	Serial（Type1）	KBW（Type2）	
00	**NUL**	**Null**	
01	**SOH**	**Keypad Enter**	
02	**STX**		
03	**ETX**	**Null**	
04	**EOT**	**Null**	

hex	Serial（Type1）	KBW（Type2）	
05	**ENQ**	**Null**	
06	**ACK**	**Null**	
07	**BEL**	**Enter**	
08	**BS**	**Backspace**	
09	**HT**	**Tab**	
0A	**LF**		
0B	**VT**	**Tab**	
0C	**FF**	**Delete**	
0D	**CR**	**Enter**	

hex	Serial（Type1）	KBW（Type2）	
0E	**SO**	**Insert**	
0F	**SI**	**Esc**	
10	**DLE**	**F11**	
11	**DC1**	**Home**	
12	**DC2**		
13	**DC3**		
14	**DC4**		
15	**NAK**	**F12**	
16	**SYN**	**F1**	

hex	Serial（Type1）	KBW（Type2）	
17	**ETB**	**F2**	
18	**CAN**	**F3**	
19	**EM**	**F4**	
1A	**SUB**	**F5**	
1B	**ESC**	**F6**	
1C	**FS**	**F7**	
1D	**GS**	**F8**	
1E	**RS**	**F9**	
1F	**US**	**F10**	

ASCII コード（文字・数字・記号）

hex			hex		
20	Space		28	(	
21	!		29	)	
22	“		2A	*	
23	#		2B	+	
24	$		2C	, カンマ	
25	%		2D	- ハイフン	
26	&		2E	. ドット	
27	’ アポストロフィー		2F	/	

hex			hex		
30	0		38	8	
31	1		39	9	
32	2		3A	:	
33	3		3B	;	
34	4		3C	<	
35	5		3D	=	
36	6		3E	>	
37	7		3F	?	

hex			hex		
40	@		48	H	
41	A		49	I	
42	B		4A	J	
43	C		4B	K	
44	D		4C	L	
45	E		4D	M	
46	F		4E	N	
47	G		4F	O	

hex			hex		
50	P		58	X	
51	Q		59	Y	
52	R		5A	Z	
53	S		5B	[	
54	T		5C	¥	
55	U		5D	]	
56	V		5E	^	
57	W		5F	_ アンダーバー	

hex			hex		
60	` グレイヴ・アクセント		68	h	
61	a		69	i	
62	b		6A	j	
63	c		6B	k	
64	d		6C	l	
65	e		6D	m	
66	f		6E	n	
67	g		6F	o	

hex			hex		
70	p		78	x	
71	q		79	y	
72	r		7A	z	
73	s		7B	{	
74	t		7C	| バーティカルバー	
75	u		7D	}	
76	v		7E	~	
77	w		7F	Delete	

数字バーコード

0

5

1

6

2

7

3

8

4

9

困ったときは

●スキャナーの充電はしっかりとされていて、スキャナーの赤 LED は点灯している（電源 ON）のに、トリガーボタンを押しても光が出ない。

●光が出たままになって、バーコードの読み取りもできない。

⇒ スキャナーがハングアップ（フリーズ）している可能性が有ります。
トリガーボタンを 30 秒ほど長押しして電源 OFF にし、再起動させてください。

●クレードルとのペアリングがうまくいかない、ペアリングが切れてしまう

⇒ スキャナーの充電、クレードルへの給電はしっかりとされていますか？
スキャナーの充電不足・クレードルへの給電不足はペアリング不良の原因となります。
付属の給電用ケーブルがちゃんと接続されているかご確認ください。

⇒ スキャナーの自動接続の時間を過ぎるとペアリングがうまくいかない場合があります。
クレードル正面および底面にあるペアリングバーコードを再度スキャンしてください。

●日本語のデータが正しく出力されない、文字化けしてしまう

⇒ 出力先のソフトとスキャナーの設定があっているか確認/設定変更してください。
例）出力先：Excel → 本体設定：Shift-JIS
出力先：Word → 本体設定：UTF-8

⇒ Microsoft IME のバージョンによっては以下設定変更が必要です。
1) Windows タスクバーに表示されている IME のアイコン（全角/半角キーで"あ""A"で切り替わるところ）を右クリック⇒「設定」
2) 「全般」⇒「互換性」の項目にある”以前のバージョンの Microsoft IME を使う”をオンにする → 確認画面で「OK」をクリック

●Windows11 のメモ帳で正しく出力されない

⇒ Windows11 の OS 標準メモ帳アプリの仕様変更の影響により、データが欠けるなど正しい出力結果を得られません。別のテキストエディタにてお試しください。